

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大成中学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1) 根拠を明確にしなが、自らの考えを論理的に伝えることができる資質・能力 (2) 困難な課題にも粘り強く向き合い、自らの学習を調整することができる資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1) 問題の答えを求めただけでなく、どのように考えその答えに至ったかについて、生徒が筋道立てて説明し合う活動の実施【各単元の中で1回以上】。 (2) 課題解決の過程において、分からない問題に対しても「どこまで分かったか」を言語化し、自分の学び方について振り返る時間を確保する【毎時間】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	調査の振り返り(4月)	学力向上策の実施
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	調査結果分析(7月)	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③調査結果を活用した授業

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(5月)	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業	

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③児童生徒の実態把握
↓		
学力向上策の 見直し	中間評価(9月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)